

みんなでつくろう! 賃上げが当たり前の社会! 2025 春季生活闘争ニュース

2025. 3. 12

— 第 3 号 —

連合北海道 春季生活闘争本部

2025 春闘・第 27 回参院選 勝利!!

— 3. 10 全道総決起集会 —

連合北海道春季生活闘争本部（本部長：須間）は3月10日札幌市のカナモトホールで「2025 春季生活闘争・第 27 回参議院議員選挙勝利!! 3.10 全道総決起集会」を開催し、構成産別や地域協議会、退職者連合など組合員 1200 名が参加した。集会では大手先行組合の回答が集中するヤマ場を前に賃上げなどの処遇改善に向けて意思統一を図るとともに、今年の夏に投票票予定の参議院選挙の連合推薦候補予定者を紹介し、激励した。

冒頭、須間本部長は主催者挨拶で「昨年春闘では大幅賃金引き上げとなったものの、物価上昇により生活実態は良くなっていない。」と述べ「2025 春闘では賃金・経済・物価を安定した巡航軌道に乗せる年とすることを目指し、何としても物価上昇を上回る賃上げを成し遂げなければならない」と力強く訴えた。

また「企業規模間格差も広がり、中小企業で働く仲間の賃上げに向け、『労務費を含む適切な価格転嫁』『適正取引』『価格協議』が実行されることが重要であり、大手企業の労働組合は積極的に自社の取引が適正に行われているか、労使交渉においてチェックしよう」と呼びかけた。今年夏の選挙戦にも触れ、北海道選挙区 候補予定者 勝部けんじ氏、連合推薦の産別比例代表 10 名の候補予定者全員の勝利に向け取り組む決意を示した。

2025 春季生活闘争の方針を提起した和田事務局長は取り組み経過や 2025 春闘方針、回答引き出しゾーンなど共有した上で「最大のヤマ場である 1 1 日～1 3 日を皮切りにみんなの春闘を展開し、労働組合の存在意義を広く社会にアピールして仲間を増やそう」と提起した。

その後、私鉄総連の加藤委員長、上川地協の井上会長代行から今次春闘への決意表明があり、選挙戦に向けては、連合推薦比例代表 10 名の紹介と勝部けんじ氏から熱い決意表明があった。

最後は荒川本部長代行が団結がんばろうを三唱し、集会を閉会した。



挨拶する須間本部長



団結がんばろう



須間本部長
と
勝部氏(右)



会場風景